

事業活動報告書

1. 学校名

葛飾区立住吉小学校

2. 令和7年度の活動目標

- ・本校の弱視教室との連携を図りながら、普遍的な福祉教育を推進する。
- ・直接的な体験を通して、実感する中で福祉教育について学ぶ。

3. 活動の様子

6年生 手話教室の様子



4. 活動の成果

- ・日本補助犬協会より補助犬とユーザーを招いて、啓発授業を学校公開で保護者も交えて実施した。低学年と高学年で時間を分けて、講演内容も実態に合わせて実施してくれた。特に補助犬がする仕事の多さ、またユーザーさんの困り感、そしてどのようなことを考えて生活しているのかを、直接、聞いた児童たちは自分たちのできることを振り返り、生活に生かしていく気持ちをもつことができた。また保護者からもとても好評で、「初めてこのような機会に恵まれて、補助犬やユーザーさんに対する気持ちについて考えることができた」、「ユニバーサル社会の確立がさらに浸透することが大切だ」という感想ももらえ、我々が意図するねらいを完遂できた。
- ・点字教室は、毎年5年生が受講している。点字がなぜ必要なのかというところから、見えないことや見えにくいことがどんなことなのか理解することができた。そして見えにくさからくる課題をどのように克服しているか、その工夫が点字という形で補われていることも知り、点字に対する興味関心がさらに高まった。自分の名前を点字にもらったシートに、指でたどりながら一生懸命に読み取ろうとする姿に教師だけでなく、保護者も感心していた。また児童からは、「初めて目が見えない人と話す機会をもらって、

とても貴重な体験になった」という感想もあり、素直な感想とこの経験を今後に生かそうとする気持ちにも触れることができた。

- ・手話教室は、毎年6年生が受講している。昨年度の点字教室を踏まえて、今年度は、総合的な学習の時間に「福祉取組隊」と題して3学期のまとめまで調べ学習を中心に取り組んでいる。そこで今回の手話教室の体験で、手話で自分の名前の表し方を知り、また聞こえないことが実生活でどんな困り事につながるのか、その時の支援の仕方などを知り、手話を知らなくても筆談という方法もあることや支援しようとする気持ちが大切なことなどを学ぶことができた。